

設置計画履行状況等調査の結果について (平成29年度)

1. 調査の概要

設置計画履行状況等調査（以下「アフターケア」という。）は、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年文部科学省令第12号）（以下「手続規則」という。）第14条（※1参照）に基づき、大学・大学院，短期大学，高等専門学校（以下「大学等」という。）の設置認可時等における留意事項及び授業科目の開設状況，教員組織の整備状況，その他の設置計画の履行状況について，各大学等からの報告を求め，書面，面接又は実地により調査を行い，各大学等の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施するものである。

2. 調査対象

アフターケアは、「大学設置分科会運営規則」第5条の2（※2参照）の規定に基づき，大学設置分科会の下に置かれた「設置計画履行状況等調査委員会」（以下「調査委員会」という。）（別添1）において，原則，認可を受けた者又は届出を行った者のうち設置計画期間中にある者に対し，書面調査，面接調査，実地調査のいずれか又は併用によって行っている。

なお，設置計画期間中に付された意見への対応が十分でなかった大学等には，完成年度以降も設置計画履行状況の調査を継続して行うこととしている。

平成29年度の調査対象校数は412校（国立84校，公立24校，私立304校）であり，これらすべてについて書面調査を行い，併せて面接調査を実施したのは19校，実地調査を実施したのは10校であった。

3. 平成29年度調査結果の概要

平成29年度の調査対象の全412校のうち、設置計画が適切に履行されていないとして是正意見又は改善意見が付された大学等は208校であり、意見が付されなかった大学等は204校であった（別添2）。

アフターケアは、個々の大学等の設置計画に対する履行状況を調査・確認の上、必要に応じて改善を求めるものであるが、平成29年度のアフターケアでは、主に次のような事例が確認された。

- 入学志願者や社会からのニーズを適切に踏まえた定員設定となっていない結果として、開設以来、未充足が続いている状態、一方で、大幅に定員を超えて学生を受け入れている状態の大学など、収容定員が適切に管理されておらず、結果として教育環境の低下が危惧される。
- 大学設置基準等の理解不足による不適切な授業計画が示されたシラバスや、作成されたシラバスの不十分な確認等により、必要な授業時間数を確保できていないことや学生が履修する上で活用すべき種々の情報が適切に提供されていないことによる学生への不利益が危惧される。

各申請者においては、認可申請書あるいは届出書が「社会に対する『約束』」であることを十分認識し、確実に履行することを改めて強く求めたい。

	国立	公立	私立	計
意見が付された大学等	6校	4校	198校	208校
是正意見が付された大学等	0校	0校	5校	5校
改善意見が付された大学等	6校	4校	198校	208校
意見が付されなかった大学等	78校	20校	106校	204校
計	84校	24校	304校	412校

※同一校には是正意見と改善意見が付されている場合がある。

4. 設置計画履行状況報告書等の情報公開

履行状況を記載した設置計画履行状況報告書等は、社会に対する説明責任を果たすために、各大学等のホームページ等を利用し、積極的に公開することが求められる。公表する際は、情報を必要とする者が容易に確認できるよう留意すること。

なお、本調査の結果は、全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※3参照）とアフターケアの有機的な連携が図られるよう各認証評価機関に対して送付するとともに、有益な情報として活用されるよう都道府県の高等学校担当部署（教育委員会及び私立学校所管部局）に対しても送付する。

参考資料

1. 本調査において付される意見等の定義

意見等の種類	定義
留意事項	手続規則第13条に基づき、認可を受けた者が設置計画を履行するに当たって留意すべき事項。
改善意見	設置計画履行状況調査の結果、留意事項の履行状況等に関し、改善を強く求める事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、その改善を求める意見。
是正意見	設置計画履行状況調査の結果、早急な是正が求められる場合、又は改善意見を受けた後に行った設置計画履行状況調査の結果、当該改善意見が求める事項について不履行がある場合若しくは対応が不十分な場合において、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、その早急な是正を求める意見。
警告	設置計画履行状況調査の結果、是正意見を受けながら、その早急な是正に向けた対応がなされていないと認められる場合に、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第3号（※4参照）に規定する「設置計画の履行の状況が著しく不適当な状態」に該当することになるおそれがある旨を伝達すること。

2. 関係法令

※1 「大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年3月31日文部科学省令第12号）」（抄）

第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。

※2 「大学設置分科会運営規則（平成18年4月25日大学設置・学校法人審議会大学設置分科会決定）」（抄）

第5条の2 分科会に、次に掲げる事項の調査、審議又は指導及び助言等をさせるため、設置計画履行状況等調査委員会（以下この条及び第七条第三項において「調査委員会」という。）を置く。

一 大学設置・学校法人審議会令（昭和六十二年政令第三百二号）第五条第二号の規定により大学設置分科会の所掌事務とされたもののうち大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成十八年文部科学省令第十二号）第十四条に定める設置認可及び届出後の設置計画及び留意事項等の履行状況についての調査等

二 学校教育法第九十五条に基づき、同法第十五条第二項若しくは第三項の規定による命令又は第一項の規定による勸告に関し、文部科学大臣が大学設置・学校法人審議会に諮問した事項に関する必要な調査等

三 前二号に規定する調査等の改善方策に係る審議

四 設置認可及び届出後の質保証に係る審議

2～9 （略）

※3 「学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）」（抄）

第109条

1 （略）

2 大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

3 専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

※4 「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年3月31日文部科学省告示第45号）」（抄）

第2条 文部科学大臣は、大学、大学院、短期大学及び高等専門学校（以下この条において「大学等」という。）に関する法第四条第一項の認可の申請を審査する場合において、認可申請者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該認可をしないものとする。

1～2 （略）

3 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成十八年文部科学省令第十二号）第十三条に規定する設置計画の履行の状況が著しく不相当と認められる大学等を設置する者

大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）
設置計画履行状況等調査委員会 委員名簿

◎…主査 ○…主査代理

【委員】

- ◎ 浅田 尚紀 兵庫県立大学理事・副学長
大野 博之 国際学院埼玉短期大学長

【特別委員】

- 岡田 豊基 神戸学院大学法学部 教授
杉谷 祐美子 青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授

【専門委員】

- 石井 良和 首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 教授
内山 靖 名古屋大学大学院医学系研究科 教授
浦田 広朗 桜美林大学大学アドミニストレーション研究科 教授
大川 淳 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科整形外科学 教授
大久保 街亜 専修大学人間科学部心理学科 教授
小川 ひろし 関西大学社会学部社会学科 教授
小山田 恭子 東邦大学看護学部看護学科 准教授
河合 壮 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 教授
関東 裕美 東邦大学医学部医療センター大森病院皮膚科 臨床教授
北山 三津子 岐阜県立看護大学看護学部長、看護学科 教授
熊谷 忠和 川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科長・教授
齊藤 貴浩 大阪大学経営企画オフィス 教授
高橋 和子 横浜国立大学教育学部学校教育課程 教授
田中 京子 大阪府立大学地域保健学域看護学類 教授
徳井 丞次 信州大学経法学部応用経済学科 教授
二宮 啓子 神戸市看護大学副学長、看護学部看護学科 教授
野田 泰子 自治医科大学医学部解剖学講座解剖学部門 教授
橋詰 勉 京都薬科大学薬学部薬学科 教授
平井 貴美代 山梨大学大学院総合研究部教育学域 教授
間瀬 健二 名古屋大学大学院情報科学研究科 教授
村上 和彰 九州大学 名誉教授
村田 容常 お茶の水女子大学基幹研究院 自然科学系 教授
森 香織 日本大学芸術学部デザイン学科 教授
柳澤 理子 愛知県立大学看護学部看護学科 教授
山田 浩之 広島大学大学院教育学研究科 教授
柚崎 通介 慶應義塾大学医学部生理学 教授

○「是正意見」が付された大学等（5校）

NO.	設置者区分	大学名等	是正意見の内容
73	私立	武蔵大学	<p>○収容定員を増加したにもかかわらず、定員を大幅に超過して学生を受け入れており、特に、経済学部金融学科の推薦入試では、入学定員の5割を超える合格者を出している。大学設置基準第18条第3項及び大学入学者選抜実施要項に照らして適切な入学者選抜と定員管理がなされていないことから、推薦入試においては、自ら定めた入学定員に沿って適切な入学者選抜を行うとともに、大学全体としても大学設置基準第18条第3項に照らして適切な定員管理を行うこと。（経済学部金融学科、社会学部社会学科）</p> <p>○他大学との単位互換については大学設置基準第28条による運用とともに、授業科目を自ら開設することを求める大学設置基準第19条を満たす必要があるが、本大学における留学認定科目は授業実態がないため、大学設置基準第19条に抵触する。このため、自ら授業を行うために開設した科目に改めるか、教育課程から当該科目は削除すること。（経済学部金融学科）</p>
75	私立	麻布大学	<p>○シラバスにおいて14回目及び15回目に定期試験を行う科目が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていないと考えられる。1単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスの確認体制を充実させること。（獣医学部動物応用科学科）</p>
112	私立	名城大学	<p>○シラバスにおいて15回目に定期試験を行う科目が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていないと考えられる。1単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスの確認体制を充実させること。（理工学部材料機能工学科）</p>
120	私立	京都光華女子大学	<p>○シラバスにおいて15回目に定期試験を行う科目が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていないと考えられる。この他にも、授業計画を適切に明示していない科目があるなど、学生が授業計画等を適切に把握できるシラバスとなっていないため、1単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスの確認体制の見直し等の方策を検討し、速やかに改善すること。（健康科学部心理学科）</p>
143	私立	大和大学	<p>○専任教員数が認可時の計画から大幅に減少している。これに対しては、一定程度の専任教員の補充がなされているが、認可された設置計画の質の確保のためには更なる教員の充実が必要である。提示された教員補充計画を確実に履行しつつ、将来的な教員組織編制の計画を策定し、教育の質の維持向上に努めること。（教育学部教育学科）</p>

○「改善意見」が付された大学等（国立6校、公立4校、私立198校）

※は、是正意見も付されている大学。

NO.	設置者区分	大学名等
1	国立	滋賀大学
2	国立	京都大学大学院
3	国立	島根大学 島根大学大学院
4	国立	広島大学大学院
5	公立	群馬県立県民健康科学大学大学院
6	公立	敦賀市立看護大学
7	公立	兵庫県立大学大学院
8	私立	札幌国際大学大学院
9	私立	札幌保健医療大学
10	私立	日本医療大学
11	私立	北翔大学
12	私立	北海道医療大学 北海道医療大学大学院
13	私立	北海道科学大学 北海道科学大学大学院
14	私立	北海道千歳リハビリテーション大学
15	私立	北海道文教大学大学院
16	私立	青森中央学院大学
17	私立	八戸学院大学
18	私立	岩手保健医療大学
19	私立	石巻専修大学
20	私立	仙台大学
21	私立	東北文化学園大学
22	私立	東北医科薬科大学
23	私立	東北芸術工科大学
24	私立	いわき明星大学
25	私立	福島学院大学
26	私立	つくば国際大学
27	私立	常磐大学
28	私立	日本ウェルネススポーツ大学
29	私立	足利工業大学
30	私立	国際医療福祉大学
31	私立	群馬パース大学
32	私立	高崎商科大学
33	私立	浦和大学
34	私立	埼玉学園大学 埼玉学園大学大学院
35	私立	十文字学園女子大学 十文字学園女子大学大学院
36	私立	日本保健医療大学
37	私立	人間総合科学大学 人間総合科学大学大学院
38	私立	平成国際大学
39	私立	武蔵野学院大学大学院
40	私立	開智国際大学
41	私立	秀明大学
42	私立	淑徳大学 淑徳大学大学院
43	私立	城西国際大学 城西国際大学大学院
44	私立	聖徳大学
45	私立	千葉科学大学
46	私立	千葉商科大学
47	私立	中央学院大学
48	私立	東京基督教大学大学院
49	私立	跡見学園女子大学
50	私立	嘉悦大学大学院

NO.	設置者区分	大学名等
51	私立	共立女子大学大学院
52	私立	順天堂大学
53	私立	上智大学 上智大学大学院
54	私立	白百合女子大学
55	私立	大正大学
56	私立	玉川大学
57	私立	中央大学 中央大学大学院
58	私立	津田塾大学
59	私立	帝京大学 帝京大学大学院
60	私立	帝京科学大学
61	私立	帝京平成大学 帝京平成大学大学院
62	私立	東海大学大学院
63	私立	東京有明医療大学大学院
64	私立	東京医療学院大学
65	私立	東京純心大学
66	私立	東京電機大学
67	私立	東京理科大学 東京理科大学大学院
68	私立	東邦大学
69	私立	東洋大学 東洋大学大学院
70	私立	日本大学 日本大学大学院
71	私立	日本体育大学 日本体育大学大学院
72	私立	文京学院大学
73	私立	武蔵大学 ※
74	私立	武蔵野大学 武蔵野大学大学院
75	私立	麻布大学 ※
76	私立	関東学院大学 関東学院大学大学院
77	私立	松蔭大学
78	私立	湘南医療大学
79	私立	昭和音楽大学 昭和音楽大学大学院
80	私立	星槎大学大学院
81	私立	横浜創英大学 横浜創英大学大学院
82	私立	新潟医療福祉大学
83	私立	新潟経営大学
84	私立	新潟工科大学
85	私立	高岡法科大学
86	私立	金沢学院大学
87	私立	金沢星稜大学
88	私立	金城大学
89	私立	北陸大学
90	私立	福井医療大学
91	私立	福井工業大学 福井工業大学大学院
92	私立	健康科学大学
93	私立	山梨学院大学
94	私立	諏訪東京理科大学
95	私立	長野保健医療大学

NO.	設置者区分	大学名等
96	私立	松本大学
97	私立	朝日大学
98	私立	岐阜医療科学大学大学院
99	私立	中部学院大学
100	私立	東海学院大学
101	私立	静岡福祉大学
102	私立	静岡理工科大学
103	私立	聖隷クリストファー大学大学院
104	私立	愛知東邦大学
105	私立	一宮研伸大学
106	私立	修文大学
107	私立	名古屋学院大学
108	私立	名古屋芸術大学
109	私立	名古屋商科大学
110	私立	日本福祉大学
111	私立	人間環境大学 人間環境大学大学院
112	私立	名城大学 ※ 名城大学大学院
113	私立	鈴鹿医療科学大学 鈴鹿医療科学大学大学院
114	私立	鈴鹿大学
115	私立	聖泉大学大学院
116	私立	びわこ学院大学
117	私立	京都学園大学
118	私立	京都華頂大学
119	私立	京都看護大学
120	私立	京都光華女子大学 ※ 京都光華女子大学大学院
121	私立	京都精華大学
122	私立	京都造形芸術大学
123	私立	京都ノートルダム女子大学
124	私立	京都美術工芸大学
125	私立	佛教大学大学院
126	私立	大阪青山大学
127	私立	大阪経済法科大学 大阪経済法科大学大学院
128	私立	大阪芸術大学
129	私立	大阪工業大学 大阪工業大学大学院
130	私立	大阪国際大学
131	私立	大阪歯科大学
132	私立	大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学大学院
133	私立	大阪成蹊大学
134	私立	大阪体育大学
135	私立	大阪人間科学大学
136	私立	関西大学大学院
137	私立	関西福祉科学大学
138	私立	摂南大学大学院
139	私立	太成学院大学
140	私立	帝塚山学院大学
141	私立	梅花女子大学 梅花女子大学大学院
142	私立	森ノ宮医療大学
143	私立	大和大学 ※
144	私立	関西福祉大学 関西福祉大学大学院

※「NO.」は、意見全体の「NO.」と共通。

NO.	設置者区分	大学名等
145	私立	神戸学院大学
146	私立	神戸医療福祉大学
147	私立	神戸松蔭女子学院大学
148	私立	神戸山手大学
149	私立	姫路大学大学院
150	私立	姫路獨協大学
151	私立	兵庫大学
152	私立	流通科学大学
153	私立	帝塚山大学
154	私立	天理大学大学院
155	私立	高野山大学
156	私立	鳥取看護大学
157	私立	岡山理科大学 岡山理科大学大学院
158	私立	川崎医療福祉大学
159	私立	環太平洋大学
160	私立	吉備国際大学 吉備国際大学大学院
161	私立	倉敷芸術科学大学
162	私立	就実大学
163	私立	中国学園大学
164	私立	比治山大学
165	私立	広島国際大学
166	私立	広島修道大学
167	私立	広島都市学園大学
168	私立	広島文化学園大学大学院
169	私立	安田女子大学
170	私立	東亜大学大学院
171	私立	徳島文理大学 徳島文理大学大学院
172	私立	聖カタリナ大学
173	私立	九州国際大学
174	私立	九州産業大学
175	私立	久留米大学 久留米大学大学院
176	私立	第一薬科大学
177	私立	筑紫女学園大学
178	私立	福岡看護大学
179	私立	西九州大学 西九州大学大学院
180	私立	長崎国際大学大学院
181	私立	九州保健福祉大学
182	私立	宮崎国際大学
183	私立	第一工業大学
184	私立短大	札幌大学女子短期大学部
185	私立短大	青森明の星短期大学
186	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部
187	私立短大	聖和学園短期大学
188	私立短大	仙台青葉学院短期大学
189	私立短大	東京経営短期大学
190	私立短大	東京歯科大学短期大学
191	私立短大	茨城女子短期大学
192	私立短大	金沢学院短期大学
193	私立短大	ユマニテク短期大学
194	私立短大	池坊短期大学
195	私立短大	大阪成蹊短期大学
196	私立短大	神戸山手短期大学
197	私立短大	佐賀女子短期大学

NO.	設置者区分	大学名等
198	私立短大	西九州大学短期大学部
199	私立高専	金沢工業高等専門学校
200	国立	千葉大学 千葉大学大学院
	国立	東京医科歯科大学大学院
	公立	兵庫県立大学大学院
	公立	高知県立大学大学院
	私立	日本赤十字看護大学大学院
201	私立	日本赤十字北海道看護大学大学院
	私立	日本赤十字秋田看護大学大学院
	私立	日本赤十字豊田看護大学大学院
	私立	日本赤十字広島看護大学大学院
	私立	日本赤十字九州国際看護大学大学院

※「NO.」は、意見全体の「NO.」と共通。

○意見が付されなかった大学等（国立78校、公立20校、私立106校）

設置者区分	大学名等
国立	北海道大学
	北海道大学大学院
国立	北海道教育大学
国立	帯広畜産大学
国立	北見工業大学
国立	弘前大学
	弘前大学大学院
国立	岩手大学
	岩手大学大学院
国立	東北大学大学院
国立	秋田大学
	秋田大学大学院
国立	山形大学
	山形大学大学院
国立	茨城大学
	茨城大学大学院
国立	筑波大学大学院
国立	宇都宮大学
国立	群馬大学
国立	埼玉大学
	埼玉大学大学院
国立	東京大学
	東京大学大学院
国立	東京外国語大学大学院
国立	東京学芸大学
国立	東京農工大学
	東京農工大学大学院
国立	東京芸術大学大学院
国立	東京工業大学
	東京工業大学大学院
国立	東京海洋大学
国立	お茶の水女子大学大学院
国立	電気通信大学
	電気通信大学大学院
国立	横浜国立大学
国立	新潟大学
国立	長岡技術科学大学
	長岡技術科学大学大学院
国立	富山大学大学院
国立	金沢大学大学院
国立	福井大学
国立	山梨大学大学院
国立	信州大学
	信州大学大学院
国立	岐阜大学
	岐阜大学大学院
国立	静岡大学
国立	名古屋大学
	名古屋大学大学院
国立	愛知教育大学
国立	名古屋工業大学
	名古屋工業大学大学院
国立	三重大学
	三重大学大学院
国立	滋賀医科大学大学院
国立	京都工芸繊維大学大学院
国立	大阪大学大学院
国立	大阪教育大学
国立	兵庫教育大学大学院
国立	神戸大学

設置者区分	大学名等
	神戸大学大学院
国立	奈良教育大学大学院
国立	奈良女子大学
	奈良女子大学大学院
国立	和歌山大学
国立	鳥取大学
	鳥取大学大学院
国立	岡山大学大学院
国立	山口大学
	山口大学大学院
国立	徳島大学
	徳島大学大学院
国立	香川大学大学院
国立	愛媛大学
	愛媛大学大学院
国立	高知大学
国立	九州大学大学院
国立	佐賀大学
	佐賀大学大学院
国立	長崎大学
	長崎大学大学院
国立	大分大学
	大分大学大学院
国立	宮崎大学
	宮崎大学大学院
国立	鹿児島大学
	鹿児島大学大学院
国立	鹿屋体育大学大学院
国立	琉球大学
	琉球大学大学院
国立	北陸先端科学技術大学院大学
国立高専	函館工業高等専門学校
国立高専	苫小牧工業高等専門学校
国立高専	釧路工業高等専門学校
国立高専	八戸工業高等専門学校
国立高専	一関工業高等専門学校
国立高専	仙台高等専門学校
国立高専	秋田工業高等専門学校
国立高専	鶴岡工業高等専門学校
国立高専	福島工業高等専門学校
国立高専	茨城工業高等専門学校
国立高専	小山工業高等専門学校
国立高専	津山工業高等専門学校
国立高専	阿南工業高等専門学校
国立高専	高知工業高等専門学校
国立高専	有明工業高等専門学校
国立高専	北九州工業高等専門学校
公立	宮城大学
公立	秋田県立大学大学院
公立	秋田公立美術大学大学院
公立	山形県立保健医療大学大学院
公立	山形県立米沢栄養大学
公立	福島県立医科大学大学院
公立	埼玉県立大学大学院
公立	神奈川県立保健福祉大学大学院
公立	富山県立大学大学院
公立	大阪府立大学
	大阪府立大学大学院
公立	公立鳥取環境大学大学院
公立	島根県立大学大学院

設置者区分	大学名等
公立	県立広島大学大学院
公立	香川県立保健医療大学大学院
公立	高知工科大学
公立	福岡県立大学大学院
公立	福岡女子大学大学院
公立	長崎県立大学
公立短大	会津大学短期大学部
公立短大	静岡県立大学短期大学部
私立	千歳科学技術大学
私立	北海学園大学大学院
私立	岩手医科大学
私立	尚綱学院大学大学院
私立	東北学院大学
私立	東北福祉大学
私立	宮城学院女子大学
私立	流通経済大学
私立	作新学院大学
私立	上武大学
私立	尚美学園大学
私立	駿河台大学大学院
私立	日本工業大学大学院
私立	文教大学
私立	江戸川大学
私立	千葉工業大学
私立	東京情報大学
私立	放送大学大学院
私立	和洋女子大学
私立	青山学院大学
私立	亜細亜大学
私立	桜美林大学
私立	学習院大学
	学習院大学大学院
私立	北里大学
私立	慶應義塾大学大学院
私立	国立音楽大学
私立	工学院大学
私立	駒澤大学大学院
私立	実践女子大学
私立	芝浦工業大学
	芝浦工業大学大学院
私立	社会情報大学院大学
私立	昭和女子大学
私立	聖路加国際大学大学院
私立	聖心女子大学
私立	創価大学
私立	拓殖大学大学院
私立	多摩美術大学
私立	東京医療保健大学大学院
私立	東京家政大学
私立	東京工科大学
私立	東京造形大学大学院
私立	東京農業大学
私立	桐朋学園大学大学院
私立	二松学舎大学
私立	日本医科大学大学院
私立	法政大学
	法政大学大学院
私立	武蔵野音楽大学
私立	明治大学大学院
私立	明治学院大学大学院

設置者区分	大学名等
私立	明星大学
私立	立正大学大学院
私立	ルーテル学院大学
私立	早稲田大学
	早稲田大学大学院
私立	神奈川歯科大学大学院
私立	神奈川大学大学院
私立	神奈川工科大学
私立	横浜商科大学
私立	横浜薬科大学
私立	国際大学大学院
私立	長岡大学
私立	新潟国際情報大学
私立	新潟青陵大学
私立	新潟薬科大学
私立	岐阜聖徳学園大学
私立	愛知学院大学大学院
私立	愛知工業大学
私立	愛知淑徳大学
私立	中京大学
	中京大学大学院
私立	中部大学
	中部大学大学院
私立	東海学園大学
私立	名古屋外国語大学
私立	南山大学
	南山大学大学院
私立	藤田保健衛生大学大学院
私立	びわこ成蹊スポーツ大学
私立	京都産業大学
	京都産業大学大学院
私立	京都橘大学
	京都橘大学大学院
私立	同志社女子大学
私立	明治国際医療大学
私立	立命館大学
	立命館大学大学院
私立	龍谷大学
私立	追手門学院大学
	追手門学院大学大学院
私立	大阪産業大学
私立	関西外国語大学
私立	近畿大学
	近畿大学大学院
私立	四條畷学園大学
私立	プール学院大学
私立	大手前大学
私立	関西学院大学
私立	神戸芸術工科大学
私立	神戸女子大学
	神戸女子大学大学院
私立	武庫川女子大学
	武庫川女子大学大学院
私立	奈良学園大学
私立	広島工業大学
	広島工業大学大学院
私立	梅光学院大学
私立	松山大学大学院
私立	産業医科大学大学院
私立	西南学院大学大学院

設置者区分	大学名等
私立	中村学園大学
私立	日本経済大学
私立	福岡工業大学
	福岡工業大学大学院
私立	福岡女学院大学
私立	長崎総合科学大学
私立	立命館アジア太平洋大学
私立	沖縄科学技術大学院大学
私立短大	湘北短期大学
私立短大	小田原短期大学

平成29年度 設置計画履行状況等調査意見

※国立大学の「認可又は届出」欄の「意見伺い」は公私立大学における「認可」、「事前伺い」は「届出」に相当する手続き。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
1	国立	滋賀大学	事前伺い	29	学部学科設置	経済学部	企業経営学科		○ 経済学部企業経営学科の入学定員超過の改善に努めること。 改善意見
2	国立	京都大学大学院	意見伺い	25	研究科設置	総合生存学館	総合生存学専攻(D)		○ 総合生存学館総合生存学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
3	国立	島根大学大学院	意見伺い	28	専攻設置又は課程変更	医学系研究科	看護学専攻(D)		○ 医学系研究科看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
4	国立	広島大学大学院	事前伺い	28	専攻設置又は課程変更	教育学研究科	日本語教育学専攻(M)		○ 提出された書類の記載内容に複数の不整合があり、設置計画履行状況の調査に支障が生じることとなったことから、提出書類のチェック体制の見直しなど、適切な改善を図ること。(教育学研究科日本語教育学専攻(M)) 改善意見
5	公立	群馬県立県民健康科学大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 同一設置者が設置する既設学部等(群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部国際ビジネス課程)の入学定員超過の改善に努めること。 改善意見
			認可	28	専攻設置又は課程変更	診療放射線学研究科	診療放射線学専攻(D)		
6	公立	敦賀市立看護大学	認可	26	大学設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
7	公立	兵庫県立大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	地域資源マネジメント研究科	地域資源マネジメント専攻(D)		○ 地域資源マネジメント研究科地域資源マネジメント専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
8	私立	札幌国際大学大学院	認可	28	研究科設置	スポーツ健康指導研究科	スポーツ健康指導専攻(M)		○ スポーツ健康指導研究科スポーツ健康指導専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(人文学部現代文化学科、観光学部観光ビジネス学科、国際観光学科、スポーツ人間学部スポーツビジネス学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
			認可	29	学部学科設置	保健医療学部	栄養学科		
9	私立	札幌保健医療大学	認可	29	学部学科設置	保健医療学部	栄養学科		○ 保健医療学部栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見 ○ 保健医療学部栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
			認可	26	大学設置	保健医療学部	看護学科		
10	私立	日本医療大学	認可	26	大学設置	保健医療学部	看護学科		○ 保健医療学部リハビリテーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見 ○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
			認可	27	学部学科設置	保健医療学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
			認可	28	学部学科設置	保健医療学部	診療放射線学科	作業療法学専攻	○ 保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
11	私立	北翔大学	届出	26	学部設置	教育文化学部	教育学科		○ 教育文化学部芸術学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							芸術学科		○ 生涯スポーツ学部健康福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							心理カウンセリング学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（北翔大学短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	26	学部学科設置	生涯スポーツ学部	健康福祉学科			
12	私立	北海道医療大学	届出	27	学部学科設置	リハビリテーション科学部	言語聴覚療法学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（看護福祉学部臨床福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
		北海道医療大学大学院	届出	27	専攻設置又は課程変更	リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻(D)			
13	私立	北海道科学大学	認可	26	学部学科設置	保健医療学部	看護学科		○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
14	私立	北海道千歳リハビリテーション大学	認可	29	大学設置	健康科学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	○ 健康科学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
								作業療法学専攻		
15	私立	北海道文教大学大学院	認可	29	研究科設置	リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻(M)		○ こども発達学研究科こども発達学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	29	研究科設置	こども発達学研究科	こども発達学専攻(M)		○ リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（外国語学部国際言語学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
16	私立	青森中央学院大学	認可	26	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
17	私立	八戸学院大学	認可	28	学部学科設置	健康医療学部	看護学科		○ 健康医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
18	私立	岩手保健医療大学	認可	29	大学設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
19	私立	石巻専修大学	届出	25	学部学科設置	理工学部	生物科学科		○ 理工学部生物科学科の入学定員超過の改善に努めること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（理工学部食環境学科、機械工学科、情報電子工学科、経営学部経営学科、人間学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
20	私立	仙台大学	届出	23	学部学科設置	体育学部	現代武道学科		○ 体育学部現代武道学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			認可	29	学部学科設置	体育学部	子ども運動教育学科		○ 体育学部子ども運動教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 体育学部現代武道学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
21	私立	東北文化学園大学	届出	28	学部学科設置	科学技術学部	臨床工学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療福祉学部保健福祉学科、総合政策学部総合政策学科、科学技術学部知能情報システム学科、建築環境学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
22	私立	東北医科薬科大学	認可	28	学部設置	医学部	医学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（薬学部生命薬科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
23	私立	東北芸術工科大学	届出	26	学部学科設置	デザイン工学部	コミュニティデザイン学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（芸術学部歴史遺産学科、文化財保存修復学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
24	私立	いわき明星大学	届出	27	学部設置	教養学部	地域教養学科		○ 教養学部地域教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
25	私立	福島学院大学	認可	27	学部学科設置	福祉学部	こども学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（福島学院大学短期大学部食物栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
26	私立	つくば国際大学	届出	26	学部学科設置	医療保健学部	臨床検査学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療保健学部保健栄養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	28	学部学科設置	医療保健学部	医療技術学科			
27	私立	常磐大学	届出	29	学部設置	総合政策学部	経営学科		○ 総合政策学部法律行政学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							法律行政学科		○ 総合政策学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							総合政策学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
28	私立	日本ウェルネススポーツ大学	認可	24	大学設置	スポーツプロモーション学部	スポーツプロモーション学科(通信教育課程)		○ スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科(通信教育課程)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
29	私立	足利工業大学	認可	26	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(工学部創生工学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
30	私立	国際医療福祉大学	届出	28	学部設置	成田看護学部	看護学科		○ 専任教員の増員によって、実習助手の配置が見直されたことに伴い、開設3年目となる次年度から多くの実習助手が配置される計画となっている。このため、教育の質の低下を招かないよう実習助手に対するFD活動等を充実し、能力の向上に努めるとともに、提示された専任教員等の補充計画を確実に履行すること。(成田看護学部看護学科)	改善意見
31	私立	群馬パース大学	届出	29	学部学科設置	保健科学部	臨床工学科		○ 保健科学部臨床工学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
32	私立	高崎商科大学	届出	29	学部学科設置	商学部	会計学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等(高崎商科大学短期大学部現代ビジネス学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	29	学部学科設置	商学部	経営学科			
33	私立	浦和大学	届出	29	学部学科設置	こども学部	学校教育学科		○ こども学部学校教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(総合福祉学部総合福祉学科、浦和大学短期大学部介護福祉科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
34	私立	埼玉学園大学	届出	25	学部設置	経済経営学部	経済経営学科		○ 経済経営学部経済経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 人間学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
			届出	29	学部学科設置	人間学部	心理学科			
		認可	25	専攻設置又は課程変更	経営学研究科	経営学専攻(D)		○ 経済経営学部経済経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 経営学研究科経営学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見 改善意見	
35	私立	十文字学園女子大学	届出	27	学部学科設置	人間生活学部	人間福祉学科		○ 人間生活学部人間福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 人間生活学部文芸文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
			届出	27	学部学科設置	人間生活学部	健康栄養学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
			届出	27	学部学科設置	人間生活学部	文芸文化学科		○ 人間生活学研究科食物栄養学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
		十文字学園女子大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	人間生活学研究科	食物栄養学専攻（D）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間生活学部メディアコミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
36	私立	日本保健医療大学	認可	29	学部学科設置	保健医療学部	理学療法学科		○ 保健医療学部理学療法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
37	私立	人間総合科学大学	届出	29	学部学科設置	人間科学部	ヘルスフードサイエンス学科		○ 人間科学部ヘルスフードサイエンス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
		人間総合科学大学大学院	届出	28	専攻設置又は課程変更	人間総合科学研究科	臨床心理学専攻（M）（通信教育課程）		○ 人間総合科学研究科臨床心理学専攻（M）（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
38	私立	平成国際大学	認可	29	学部設置	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科		○ スポーツ健康学部スポーツ健康学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
39	私立	武蔵野学院大学大学院	届出	29	専攻設置又は課程変更	国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻（D）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
40	私立	開智国際大学	認可	29	学部設置	教育学部	教育学科	初等教育専攻	○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
								中等教育専攻	○ 国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	29	学部設置	国際教養学部	国際教養学科			
41	私立	秀明大学	認可	29	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
42	私立	淑徳大学	認可	24	学部学科設置	看護栄養学部	栄養学科		○ 看護栄養学部栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	26	学部設置	人文学部	表現学科		○ 人文学部歴史学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
							歴史学科		○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
		淑徳大学大学院	認可	28	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（淑徳大学短期大学部健康福祉学科社会福祉専攻）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（淑徳大学短期大学部健康福祉学科介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
43	私立	城西国際大学	認可	28	学部学科設置	福祉総合学部	理学療法学科		○ 国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。
		城西国際大学大学院	届出	25	研究科設置	国際アドミニストレーション研究科	国際アドミニストレーション専攻（M）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（国際人文学部国際文化学科、福祉総合学部福祉総合学科、環境社会学部環境社会学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
44	私立	聖徳大学	認可	26	学部設置	看護学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（心理・福祉学部心理学科、文学部文学科、音楽学部演奏学科、聖徳大学短期大学部保育科第一部、保育科第二部、総合文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
45	私立	千葉科学大学	認可	26	学部設置	看護学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科、航空技術危機管理学科、倉敷芸術科学大学芸術学部デザイン芸術学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
46	私立	千葉商科大学	届出	26	学部設置	人間社会学部	人間社会学科		○ 人間社会学部人間社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
47	私立	中央学院大学	認可	29	学部設置	現代教養学部	現代教養学科		○ 現代教養学部現代教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
48	私立	東京基督教大学大学院	認可	26	専攻設置又は課程変更	神学研究科	神学専攻（D）		○ 神学研究科神学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
49	私立	跡見学園女子大学	認可	27	学部設置	観光コミュニティ学部	観光デザイン学科		○ 観光コミュニティ学部観光デザイン学科の入学定員超過の改善に努めること。
							コミュニティデザイン学科		○ 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
50	私立	嘉悦大学大学院	認可	24	専攻設置又は課程変更	ビジネス創造研究科	ビジネス創造専攻（D）		○ ビジネス創造研究科ビジネス創造専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（ビジネス創造学部ビジネス創造学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
51	私立	共立女子大学大学院	認可	29	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。
52	私立	順天堂大学	認可	27	学部設置	国際教養学部	国際教養学科		○ 国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見					
53	私立	上智大学大学院	届出	28	研究科設置	実践宗教学研究科	死生学専攻(M)		○ 実践宗教学研究科死生学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見				
54	私立	白百合女子大学	届出	28	学部設置	人間総合学部	児童文化学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等(仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見				
							発達心理学科							
							初等教育学科							
55	私立	大正大学	認可	28	学部設置	地域創生学部	地域創生学科		○ 地域創生学部地域創生学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見				
56	私立	玉川大学	届出	26	学部学科設置	芸術学部	メディア・デザイン学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等(工学部ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科、経営学部国際経営学科)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見				
							届出	26			学部学科設置	芸術学部	芸術教育学科	音楽コース
													美術・工芸コース	
							届出	27			学部学科設置	文学部	英語教育学科	
							届出	27			学部学科設置	工学部	エンジニアリングデザイン学科	
							届出	29			学部学科設置	工学部	情報通信工学科	
							届出	29			学部学科設置	農学部	先端食農学科	
							届出	29			学部学科設置	農学部	生産農学科	
							届出	29			学部学科設置	農学部	環境農学科	
届出	29	学部学科設置	文学部	国語教育学科										
57	私立	中央大学	認可	29	収容定員増	法学部	法律学科		○ 平成29年度の入学定員超過率が1.31倍となっているため、入学定員超過の改善に努めるとともに、当初計画した専任教員数を適切に確保すること。(理工学部応用化学科)	改善意見				
							政治学科							
							国際企業関係法学科							
						経済学部	経済学科							
							商学部	経営学科						
						商業・貿易学科								
						理工学部	数学科							
物理学科														
都市環境学科														

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
							精密機械工学科 電気電子情報通信工学科 応用化学科 経営システム工学科 情報工学科 生命科学科 人間総合理工学科 文学部 総合政策学部	人文社会学科 国際政策文化学科	
58	私立	津田塾大学	認可	29	学部設置	総合政策学部	総合政策学科		○ 総合政策学部総合政策学科の入学定員超過の改善に努めること。 改善意見
59	私立	帝京大学	届出	23	学部学科設置	経済学部	地域経済学科		○ 経済学部地域経済学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
			届出	26	学部学科設置	福岡医療技術学部	看護学科		○ 経済学部地域経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
			届出	26	学部学科設置	福岡医療技術学部	診療放射線学科		○ 福岡医療技術学部医療技術学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
			届出	27	学部学科設置	福岡医療技術学部	医療技術学科		○ 文学研究科日本史・文化財学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
		届出	24	専攻設置又は課程変更	文学研究科	日本史・文化財学専攻(D)		○ 経済学研究科地域経済政策学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見	
		届出	28	専攻設置又は課程変更	経済学研究科	地域経済政策学専攻(M)		○ 福岡医療技術学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。 改善意見	
		届出	28	専攻設置又は課程変更	医学研究科	医学専攻(D)		○ 福岡医療技術学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。 改善意見 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(理工学部機械・精密システム工学科、航空宇宙工学科、帝京大学短期大学人間文化学科、現代ビジネス学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見	
60	私立	帝京科学大学	認可	28	学部学科設置	医療科学部	医療福祉学科		○ 医療科学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
			届出	28	学部学科設置	教育人間科学部	学校教育学科	小学校コース	○ 教育人間科学部学校教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。 改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
								中高理科コース 中高保健体育コース		
61	私立	帝京平成大学	届出	25	学部学科設置	現代ライフ学部	観光経営学科		○ 現代ライフ学部観光経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
		帝京平成大学大学院	届出	26	専攻設置又は課程変更	健康科学研究科	病院前救急医療学専攻 (M)		○ 健康科学研究科病院前救急医療学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	29	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻 (M)		○ 看護学研究科看護学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
62	私立	東海大学大学院	届出	28	専攻設置又は課程変更	工学研究科	電気電子工学専攻 (M)		○ 同一設置者が設置する既設学部等 (基盤工学部電気電子情報工学科、国際文化学部デザイン文化学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	28	専攻設置又は課程変更	工学研究科	応用理化学専攻 (M)			
			届出	28	専攻設置又は課程変更	工学研究科	建築土木工学専攻 (M)			
			届出	28	専攻設置又は課程変更	工学研究科	機械工学専攻 (M)			
63	私立	東京有明医療大学大学院	認可	27	専攻設置又は課程変更	保健医療学研究科	保健医療学専攻 (D)		○ 保健医療学研究科保健医療学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
								○ 同一設置者が設置する既設学部等 (保健医療学部鍼灸学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	
64	私立	東京医療学院大学	認可	28	学部学科設置	保健医療学部	看護学科		○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
65	私立	東京純心大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等 (現代文化学部こども文化学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
66	私立	東京電機大学	届出	29	学部設置	システムデザイン工学部	情報システム工学科		○ システムデザイン工学部情報システム工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
						デザイン工学科		○ 工学部先端機械工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。		
			届出	29	学部学科設置	工学部	先端機械工学科			

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
67	私立	東京理科大学	届出	28	学部学科設置	工学部	情報工学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
届出	28	学部学科設置	経営学部	ビジネスエコノミクス学科					
認可	29	取容定員増	理学部第一部	数学科					
			物理学科						
			化学科						
			応用数学科						
			応用物理学科						
			応用化学科						
			工学部	工業化学科					
			理工学部	数学科					
			物理学科						
			情報科学科						
			応用生物科学科						
			建築学科						
			先端化学科						
			電気電子情報工学科						
			経営工学科						
			機械工学科						
			土木工学科						
			基礎工学部	電子応用工学科					
			材料工学科						
			生物工学科						
東京理科大学大学院	届出	29	専攻設置又は課程変更	理学研究科	科学教育専攻（M）				
					科学教育専攻（D）				
届出	29	専攻設置又は課程変更	理学研究科	化学専攻（M）					
					化学専攻（D）				
届出	29	専攻設置又は課程変更	工学研究科	工業化学専攻（M）					
					工業化学専攻（D）				
68	私立	東邦大学	届出	29	学部設置	健康科学部	看護学科		○ 健康科学部看護学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見		
69	私立	東洋大学	届出	29	学部学科設置	文学部第1部	国際文化コミュニケーション学科		○ 文学部第1部国際文化コミュニケーション学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	
		東洋大学大学院	届出	28	研究科設置	食環境科学研究科	食環境科学専攻(M)		○ 食環境科学研究科食環境科学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	
70	私立	日本大学	届出	27	学部学科設置	生物資源科学部	くらしの生物学科		○ 文理学部数学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	
			届出	28	学部設置	スポーツ科学部	競技スポーツ学科		○ 芸術学部演劇学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	
			届出	28	学部設置	危機管理学部	危機管理学科		○ 芸術学部放送学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	
			認可	29	収容定員増	文理学部	社会学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等(第二部法学部法律学科、日本大学短期大学部食物栄養学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	
							心理学科				
							数学科				
							芸術学部	映画学科			
								演劇学科			
								放送学科			
							国際関係学部	国際総合政策学科			
								国際教養学科			
							理工学部	建築学科			
							生物資源科学部	動物資源科学科			
							食品ビジネス学科				
					海洋生物資源科学科						
					食品生命学科						
					応用生物科学科						
				薬学部	薬学科						
		日本大学大学院	届出	29	専攻設置又は課程変更	理工学研究科	まちづくり工学専攻(M)				
71	私立	日本体育大学	認可	26	学部設置	保健医療学部	整備医療学科		○ 教育学研究科実践教科教育学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
							救急医療学科		○ 保健医療学部整備医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
		日本体育大学大学院	認可	29	研究科設置	教育学研究科	実践教科教育学専攻（M）		○ 保健医療学部救急医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
							実践教科教育学専攻（D）		○ 教育学研究科実践教科教育学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
72	私立	文京学院大学	届出	26	学部学科設置	保健医療技術学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間学部人間福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
73	私立	武蔵大学	認可	28	収容定員増	経済学部	金融学科		○ 収容定員を増加したにもかかわらず、定員を大幅に超過して学生を受け入れており、特に、経済学部金融学科の推薦入試では、入学定員の5割を超える合格者を出している。大学設置基準第18条第3項及び大学入学者選抜実施要項に照らして適切な入学者選抜と定員管理がなされていないことから、推薦入試においては、自ら定めた入学定員に沿って適切な入学者選抜を行うとともに、大学全体としても大学設置基準第18条第3項に照らして適切な定員管理を行うこと。（経済学部金融学科、社会学部社会学科）	是正意見
			認可	29	収容定員増	人文学部	英語英米文化学科		○ 他大学との単位互換については大学設置基準第28条による運用とともに、授業科目を自ら開設することを求める大学設置基準第19条を満たす必要があるが、本大学における留学認定科目は授業実態がないため、大学設置基準第19条に抵触する。このため、自ら授業を行うために開設した科目に改めるか、教育課程から当該科目は削除すること。（経済学部金融学科）	是正意見
							ヨーロッパ文化学科		○ 専任の助教について、当初計画から比べて1名減となっているが、これに対する合理的な理由が不明確なため、認可時の計画を確実に履行すること。（社会学部社会学科）	改善意見
							日本・東アジア文化学科		○ 学生に周知されている教育課程表において、未開講となっている科目や担当教員が未定となっている科目等、学生が履修を希望しても授業を受けることができない科目が多数見受けられる。学生の不利益とならないよう教育課程上で明示する授業科目については、開講に向けて適切に取組むこと。（経済学部金融学科、社会学部社会学科）	改善意見
						社会学部	社会学科		○ 多くの科目のシラバスにおいて、大学設置基準との関係で疑義があるため、次のことについて確認の上、必要に応じてシラバスの記載を改善すること。（経済学部金融学科、社会学部社会学科）	改善意見
							メディア社会学科		（1）一部の講義・演習科目において、全15回の15回目に定期試験が記載されているなど、大学設置基準第21条で定められた1単位当たりに必要な授業時間数を適切に遵守しているか不明確なため、該当する科目がないかどうかを確認の上、必要な授業時間数を確保すること。 （2）一部の科目において、授業内容等を把握するための必要な情報が明示されておらず、また、各科目のシラバスの記載も統一されていない。このため、シラバスの内容を改めるとともに、更なるシラバスの確認体制の充実に努めること。	
									○ 人文学部日本・東アジア文化学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（経済学部経済学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
74	私立	武蔵野大学	届出	26	学部設置	法学部	法律学科		○ 法学部法律学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							政治学科			
75	私立	麻布大学	認可	29	収容定員増	獣医学部	動物応用科学科		○ シラバスにおいて14回目及び15回目に定期試験を行う科目が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていないと考えられる。1単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスの確認体制を充実させること。（獣医学部動物応用科学科）	是正意見
									○ 平成29年度の入学定員超過率が1.33倍となっているため、入学定員超過の改善に努めること。（獣医学部動物応用科学科）	改善意見
76	私立	関東学院大学	届出	27	学部設置	社会学部	現代社会学科		○ 社会学部現代社会学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
		関東学院大学大学院	認可	29	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
77	私立	松蔭大学	届出	24	学部学科設置	経営文化学部	経営法学科		○ 経営文化学部経営法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	25	学部学科設置	観光メディア文化学部	メディア情報文化学科		○ 観光メディア文化学部メディア情報文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	25	学部学科設置	経営文化学部	金融経済学科		○ 経営文化学部金融経済学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	29	学部学科設置	コミュニケーション文化学部	子ども学科		○ コミュニケーション文化学部子ども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
									○ 経営文化学部経営法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
									○ 経営文化学部金融経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
									○ 観光メディア文化学部メディア情報文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
									○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
									<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション文化学部子ども学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（経営文化学部ビジネスマネジメント学科、コミュニケーション文化学部異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、日本文化コミュニケーション学科、観光メディア文化学部観光文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
78	私立	湘南医療大学	認可	27	大学設置	保健医療学部	看護学科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
							リハビリテーション学科	理学療法学専攻	
								作業療法学専攻	
79	私立	昭和音楽大学	届出	29	学部学科設置	音楽学部	音楽芸術表現学科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽学部音楽芸術表現学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
		昭和音楽大学大学院	認可	26	専攻設置又は課程変更	音楽研究科	音楽芸術専攻(D)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽研究科音楽芸術専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
80	私立	星槎大学大学院	認可	29	研究科設置	教育実践研究科	教育実践専攻(P)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育実践研究科教育実践専攻(P)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（共生科学部共生科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
81	私立	横浜創英大学	認可	24	大学設置	看護学部	看護学科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 書類不備を防ぐために、事務組織を改組しチェック体制を充実させたとのことだが、設置計画履行状況報告書に依然として多数の誤りがある。本質的な改善に結びついていないと思われるため、作業手順の見直し等の方策を検討し、速やかに導入すること。（看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科）
						こども教育学部	幼児教育学科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
		横浜創英大学大学院	認可	28	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		
82	私立	新潟医療福祉大学	届出	26	学部学科設置	医療技術学部	視機能科学科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療技術学部視機能科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
			届出	29	学部学科設置	医療技術学部	救急救命学科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療技術学部救急救命学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
83	私立	新潟経営大学	届出	28	学部設置	観光経営学部	観光経営学科		○ 観光経営学部観光経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
84	私立	新潟工科大学	届出	27	学部学科設置	工学部	工学科		○ 工学部工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
85	私立	高岡法科大学	届出	28	学部学科設置	法学部	法学科		○ 法学部法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
86	私立	金沢学院大学	届出	27	学部学科設置	文学部	文学科		○ 人間健康学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	28	学部学科設置	人間健康学部	健康栄養学科		○ 芸術学部芸術学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	28	学部設置	芸術学部	芸術学科		○ 経営情報学部経営情報学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	28	学部学科設置	経営情報学部	経営情報学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（金沢学院短期大学現代教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
87	私立	金沢星稜大学	認可	28	学部設置	人文学部	国際文化学科		○ 人文学部国際文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
								○ 人文学部国際文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	
								○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部スポーツ学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	
88	私立	金城大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
89	私立	北陸大学	認可	29	学部設置	医療保健学部	医療技術学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（薬学部薬学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	29	学部設置	国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科			
90	私立	福井医療大学	認可	29	大学設置	保健医療学部	リハビリテーション学科	理学療法専攻	○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
								作業療法専攻	○ 保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
								言語聴覚専攻		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
							看護学科			
91	私立	福井工業大学	認可	27	学部設置	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科		○ 環境情報学部経営情報学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			届出	27	学部設置	環境情報学部	環境・食品科学科		○ スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							経営情報学科		○ 環境情報学部環境・食品科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							デザイン学科		○ 工学研究科応用理工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
		福井工業大学大学院	届出	24	専攻設置又は課程変更	工学研究科	応用理工学専攻（M）		○ 工学研究科応用理工学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							応用理工学専攻（D）		○ 環境情報学部デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
								○ 同一設置者が設置する既設学部等（工学部建築土木工学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	
92	私立	健康科学大学	認可	28	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部作業療法学科、福祉心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
93	私立	山梨学院大学	認可	27	学部設置	国際リベラルアーツ学部	国際リベラルアーツ学科		○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
94	私立	諏訪東京理科大学	届出	26	学部設置	工学部	機械工学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（経営情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							電気電子工学科			
							コンピュータメディア工学科			
95	私立	長野保健医療大学	認可	27	大学設置	保健科学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	○ 保健科学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
								作業療法学専攻		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
96	私立	松本大学	認可	29	学部設置	教育学部	学校教育学科		○ 教育学部学校教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
97	私立	朝日大学	認可	26	学部設置	保健医療学部	看護学科		○ 認可時の留意事項で求めた「公衆衛生看護活動論Ⅰ」における教員体制が結果的に未だ実現できていない。教育体制の質を担保するため、引き続き、専任教員の補充に向けて努めること。（保健医療学部看護学科）	改善意見
98	私立	岐阜医療科学大学大学院	認可	28	大学院設置	保健医療学研究科	保健医療学専攻(M)		○ 同一設置者が設置する既設学部等（中日本自動車短期大学モータースポーツエンジニアリング学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
99	私立	中部学院大学	届出	26	学部学科設置	看護リハビリテーション学部	看護学科		○ 看護リハビリテーション学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	29	学部設置	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科		○ スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
100	私立	東海学院大学	届出	26	学部学科設置	健康福祉学部	管理栄養学科		○ 健康福祉学部管理栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 健康福祉学部管理栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部総合福祉学科、人間関係学部心理学科、子ども発達学科、東海学院大学短期大学部幼児教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見 改善意見
101	私立	静岡福祉大学	認可	27	学部設置	子ども学部	子ども学科		○ 子ども学部子ども学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（社会福祉学部医療福祉学科、健康福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
102	私立	静岡理工科大学	届出	29	学部学科設置	理工学部	建築学科		○ 理工学部建築学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
103	私立	聖隷クリストファー大学大学院	届出	23	専攻設置又は課程変更	社会福祉学研究科	社会福祉学専攻(D)		○ 社会福祉学研究科社会福祉学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（社会福祉学部介護福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
104	私立	愛知東邦大学	届出	28	学部学科設置	経営学部	国際ビジネス学科		○ 経営学部国際ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
105	私立	一宮研伸大学	認可	29	大学設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
106	私立	修文大学	認可	28	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（修文大学短期大学部幼児教育学科第一部）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
107	私立	名古屋学院大学	認可	27	学部学科設置	スポーツ健康学部	こどもスポーツ教育学科		○ スポーツ健康学部こどもスポーツ教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
108	私立	名古屋芸術大学	届出	29	学部設置	芸術学部	芸術学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間発達学部子ども発達学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
109	私立	名古屋商科大学	届出	26	学部学科設置	経済学部	総合政策学科		○ 経済学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（商学会計ファイナンス学科、経営学部経営情報学科、コミュニケーション学部グローバル教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
110	私立	日本福祉大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（国際福祉開発学部国際福祉開発学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	29	学部設置	スポーツ科学部	スポーツ科学科			
111	私立	人間環境大学	認可	27	学部設置	看護学部	看護学科		○ 松山看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			届出	29	学部設置	松山看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	27	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
							看護学専攻(D)		○ 看護学研究科看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
112	私立	名城大学	認可	29	収容定員増	経営学部	経営学科		○ シラバスにおいて15回目に定期試験を行う科目が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていないと考えられる。1単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスの確認体制を充実させること。（理工学部材料機能工学科）	是正意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
							国際経営学科		○ 著しく入学定員を超過（平成29年度の入学定員超過率1.36倍）しており、適切に定員管理が行われていないため、入試区分や合格基準点の設定方法の見直しなど、適切に定員管理が実現されるよう実施方を策定し、厳格な管理に努めること。（理工学部材料機能工学科）
						経済学部	経済学科		
						理工学部	数学科		
							情報工学科		
							電気電子工学科		
							材料機能工学科		
							応用化学科		
							機械工学科		
							交通機械工学科		
							メカトロニクス工学科		
							建築学科		
					農学部	生物資源学科			
						応用生物化学科			
						生物環境科学科			
					薬学部	薬学科			
					都市情報学部	都市情報学科			
					人間学部	人間学科			
113	私立	鈴鹿医療科学大学	届出	26	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
114	私立	鈴鹿大学	認可	29	学部設置	こども教育学部	こども教育学科	幼児教育学専攻 養護教育学専攻	○ こども教育学部こども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
115	私立	聖泉大学大学院	認可	27	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間学部人間心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
116	私立	びわこ学院大学	届出	26	学部学科設置	教育福祉学部	スポーツ教育学科		○ 教育福祉学部スポーツ教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
117	私立	京都学園大学	認可	27	学部設置	健康医療学部	看護学科		○ 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							言語聴覚学科		○ 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
							健康スポーツ学科		○ 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	27	学部設置	経済経営学部	経済学科		○ バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	27	学部学科設置	バイオ環境学部	食農学科			
118	私立	京都華頂大学	届出	28	学部学科設置	現代家政学部	食物栄養学科		○ 現代家政学部食物栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（華頂短期大学歴史学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
119	私立	京都看護大学	認可	26	大学設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
120	私立	京都光華女子大学	届出	26	学部学科設置	健康科学部	心理学科		○ シラバスにおいて15回目に定期試験を行う科目が見受けられ、大学設置基準第21条の授業時間数を確保できていないと考えられる。この他にも、授業計画を適切に明示していない科目があるなど、学生が授業計画等を適切に把握できるシラバスとなっていないため、1単位当たりに必要な授業時間数を適切に確保するとともに、シラバスの確認体制の見直し等の方策を検討し、速やかに改善すること。（健康科学部心理学科） ○ 平均入学定員超過率が0.39倍であり、この著しい定員未充足への対応として、平成30年度から入学定員を80名から50名に変更することだが、引き続き、定員充足に向けて、試験区分の見直しや多様な学生の受入れについても検討するなど入学定員の確保に努めること。（健康科学部心理学科）	是正意見 改善意見
121	私立	京都精華大学	届出	29	学部学科設置	芸術学部	造形学科		○ 芸術学部造形学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科、人文学部総合人文学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
122	私立	京都造形芸術大学	認可	26	収容定員増	芸術学部	キャラクターデザイン学科		○ 芸術学部文芸表現学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
							文芸表現学科			
							アートプロデュース学科			
123	私立	京都ノートルダム女子大学	認可	29	学部設置	現代人間学部	福祉生活デザイン学科		○ 現代人間学部福祉生活デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							心理学科		○ 現代人間学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							こども教育学科		○ 現代人間学部こども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間文化学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
124	私立	京都美術工芸大学	届出	28	学部学科設置	工芸学部	建築学科		○ 工芸学部建築学科の入学定員超過の改善に努めること。 ○ 工芸学部建築学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
125	私立	佛教大学大学院	届出	27	専攻設置又は課程変更	文学研究科	文学専攻（M）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（華頂短期大学歴史学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							文学専攻（M）（通信教育課程）			
							文学専攻（D）			
			届出	27	専攻設置又は課程変更	文学研究科	仏教学専攻（M）			
							仏教学専攻（M）（通信教育課程）			
							仏教学専攻（D）			
			届出	27	専攻設置又は課程変更	文学研究科	歴史学専攻（M）			
							歴史学専攻（M）（通信教育課程）			
							歴史学専攻（D）			
						歴史学専攻（D）（通信教育課程）				

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
126	私立	大阪青山大学	認可	27	学部学科設置	健康科学部	看護学科		○ 健康科学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
127	私立	大阪経済法科大学	届出	26	学部学科設置	経済学部	経営学科		○ 経済学研究科経済学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
		大阪経済法科大学大学院	認可	27	大学院設置	経済学研究科	経済学専攻（M）		○ 経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	29	専攻設置又は課程変更	経済学研究科	経営学専攻（M）		○ 経済学研究科経営学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
128	私立	大阪芸術大学	届出	29	学部学科設置	芸術学部	アートサイエンス学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（芸術学部建築学科、映像学科）の入学定員超過の改善に努めること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（芸術学部芸術計画学科、大阪芸術大学短期大学部英米文化学科、保育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
129	私立	大阪工業大学	届出	29	学部設置	ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							システムデザイン工学科			
							空間デザイン学科			
		大阪工業大学大学院	届出	29	研究科設置	ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&デザイン工学専攻（M）			
							ロボティクス&デザイン工学専攻（D）			
			届出	29	専攻設置又は課程変更	工学研究科	建築・都市デザイン工学専攻（M）			
							建築・都市デザイン工学専攻（D）			
			届出	29	専攻設置又は課程変更	工学研究科	電気電子・機械工学専攻（M）			
							電気電子・機械工学専攻（D）			
			届出	29	専攻設置又は課程変更	工学研究科	化学・環境・生命工学専攻（M）			
化学・環境・生命工学専攻（D）										

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
130	私立	大阪国際大学	届出	26	学部設置	グローバルビジネス学部	グローバルビジネス学科		○ グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
131	私立	大阪歯科大学	認可	29	学部設置	医療保健学部	口腔保健学科		○ 医療保健学部口腔保健学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							口腔工学科			
132	私立	大阪樟蔭女子大学	届出	27	学部設置	健康栄養学部	健康栄養学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（学芸学部国文学科、国際英語学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
								届出		
		届出	25	専攻設置又は課程変更	人間科学研究科	化粧ファッション学専攻（M）				
133	私立	大阪成蹊大学	認可	26	学部設置	教育学部	教育学科		○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
134	私立	大阪体育大学	認可	27	学部設置	教育学部	教育学科	小学校教育コース	○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
								保健体育教育コース		
135	私立	大阪人間科学大学	認可	28	学部学科設置	人間科学部	理学療法学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部社会福祉学科、医療福祉学科、子ども保育学科、健康心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
136	私立	関西大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	人間健康研究科	人間健康専攻（D）		○ 人間健康研究科人間健康専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
137	私立	関西福祉科学大学	認可	28	学部設置	教育学部	教育学科	子ども教育専攻	○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
								発達支援教育専攻		
138	私立	摂南大学大学院	認可	28	研究科設置	看護学研究科	看護学専攻（M）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
								認可		
139	私立	太成学院大学	届出	24	学部学科設置	人間学部	心理カウンセリング学科		○ 人間学部心理カウンセリング学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見			
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間学部子ども発達学科、経営学部現代ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見		
140	私立	帝塚山学院大学	届出	27	学部学科設置	人間科学部	キャリア英語学科		○ 人間科学部キャリア英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科、人間科学部情報メディア学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見		
141	私立	梅花女子大学	認可	27	学部学科設置	看護保健学部	口腔保健学科		○ 看護保健学研究科口腔保健学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見		
		梅花女子大学大学院	認可	29	研究科設置	看護保健学研究科	口腔保健学専攻（M）		○ 看護保健学部口腔保健学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見		
142	私立	森ノ宮医療大学	届出	28	学部学科設置	保健医療学部	臨床検査学科		○ 保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見		
143	私立	大和大学	認可	26	大学設置	教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	○ 専任教員数が認可時の計画から大幅に減少している。これに対しては、一定程度の専任教員の補充がなされているが、認可された設置計画の質の確保のためには更なる教員の充実が必要である。提示された教員補充計画を確実に履行しつつ、将来的な教員組織編制の計画を策定し、教育の質の維持向上に努めること。（教育学部教育学科）	是正意見		
								国語教育専攻			○ 保健医療学部看護学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
								数学教育専攻			○ 同一設置者が設置する既設学部等（白鳳短期大学総合人間学科看護学専攻）の入学定員超過の改善に努めること。	
								英語教育専攻				
				保健医療学部	看護学科							
					総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻						
						作業療法学専攻						
						言語聴覚学専攻						
		認可	28	学部設置	政治経済学部	政治行政学科						
						経済経営学科						
144	私立	関西福祉大学	認可	26	学部設置	発達教育学部	児童教育学科		○ 発達教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
		関西福祉大学大学院	認可	29	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 看護学研究科看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
145	私立	神戸学院大学	認可	26	学部設置	現代社会学部	現代社会学科 社会防災学科		○ 認可時の留意事項では「地域学講義Ⅰ～Ⅶ」が体系的に学修できる内容となっておらず講義内容の見直しを求めたが、各科目にサブタイトルを付すのみに留まっており、十分に改善されていない。このため、これらの科目の体系性を再度確認した上で、速やかに講義内容を見直すこと。(現代社会学部現代社会学科、社会防災学科)	改善意見
146	私立	神戸医療福祉大学	届出	25	学部学科設置	社会福祉学部	社会福祉学科		○ 社会福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 社会福祉学部社会福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
147	私立	神戸松蔭女子学院大学	届出	29	学部学科設置	人間科学部	都市生活学科 食物栄養学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等(文学部英語学科、日本語日文化学科、総合文芸学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
148	私立	神戸山手大学	届出	27	学部学科設置	現代社会学部	観光文化学科		○ 現代社会学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(現代社会学部総合社会学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
149	私立	姫路大学大学院	認可	29	大学院設置	看護学研究科	看護学専攻(M)		○ 看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(教育学部こども未来学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
150	私立	姫路獨協大学	認可	28	学部設置	看護学部	看護学科		○ 人間社会学群国際言語文化学類の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	28	学部設置	人間社会学群	国際言語文化学類 現代法律学類 産業経営学類		○ 人間社会学群現代法律学類の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 人間社会学群産業経営学類の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見 改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等(獨協大学経済学部経営学科、法学部総合政策学科)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療保健学部こども保健学科、臨床工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
151	私立	兵庫大学	届出	28	学部設置	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科		○ 現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	29	学部設置	看護学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部栄養マネジメント学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
152	私立	流通科学大学	届出	27	学部設置	人間社会学部	人間社会学科		○ 人間社会学部人間健康学科の入学定員超過の改善に努めること。
						観光学科			
						人間健康学科			
153	私立	帝塚山大学	届出	26	学部学科設置	文学部	文化創造学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（文学部日本文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
154	私立	天理大学大学院	認可	29	研究科設置	宗教文化研究科	宗教文化研究専攻（M）		○ 宗教文化研究科宗教文化研究専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
155	私立	高野山大学	届出	27	学部学科設置	文学部	人間学科		○ 文学部人間学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
156	私立	鳥取看護大学	認可	27	大学設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
157	私立	岡山理科大学	認可	28	学部設置	教育学部	初等教育学科		○ 教育学部初等教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。
						中等教育学科			
			届出	29	学部設置	経営学部	経営学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（倉敷芸術科学大学芸術学部デザイン芸術学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科、航空技術危機管理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			認可	29	取容定員増	理学部	応用数学科		
							化学科		
						応用物理学科	物理学専攻		
							臨床工学専攻		
							基礎理学科		
							生物化学科		

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
							臨床生命科学科 動物学科		
						工学部	バイオ・応用化学科 機械システム工学科 情報工学科 建築学科		
						総合情報学部	情報科学科		
						生物地球学部	生物地球学科		
		岡山理科大学大学院	届出	28	研究科設置	生物地球科学研究科	生物地球科学専攻(M)		
158	私立	川崎医療福祉大学	届出	29	学部学科設置	医療福祉学部	子ども医療福祉学科		○ 医療技術学部リハビリテーション学科の入学定員超過の改善に努めること。改善意見
			届出	29	学部学科設置	医療技術学部	臨床検査学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療福祉学部医療福祉学科，医療福祉マネジメント学部医療秘書学科，医療福祉デザイン学科，医療情報学科，川崎医療短期大学医療介護福祉科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから，学生確保に努めるとともに，入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	29	学部学科設置	医療技術学部	診療放射線技術学科		
			認可	29	取容定員増	医療福祉学部	保健看護学科		
						医療技術学部	感覚矯正学科	視能矯正専攻 言語聴覚専攻	
							健康体育学科		
							リハビリテーション学科	理学療法専攻 作業療法専攻	
							臨床工学科		
159	私立	環太平洋大学	認可	28	学部設置	経営学部	現代経営学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（東京経営短期大学こども教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから，学生確保に努めるとともに，入学定員の見直しについて検討すること。改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
160	私立	吉備国際大学	届出	26	学部設置	外国語学部	外国学科		○ 開設以降、定員未充足（入学定員超過率 外国語学部外国学科 H26：0.42倍、H27：0.35倍、H28：0.36倍、H29：0.30倍、アニメーション文化学部アニメーション文化学科 H26：0.15倍、H27：0.17倍、H28：0.47倍、H29：0.42倍）が続いているため、未充足の原因を分析し、学生確保に向けた具体的計画を策定した上で、定員充足に向けて努めること。（外国語学部外国学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科）	改善意見
			届出	26	学部設置	アニメーション文化学部	アニメーション文化学科		○ 設置計画履行状況報告書に多数の誤りがある。設置計画の履行状況を正しく把握できるよう、単にチェック体制を構築するだけでなく、本質的な改善に結びつく方策を検討し、速やかに導入すること。（外国語学部外国学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科）	改善意見
		吉備国際大学大学院	認可	29	研究科設置	地域創成農学研究科	地域創成農学専攻（M）		○ 地域創成農学研究科地域創成農学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（保健医療福祉学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（社会科学部経営社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、子ども発達教育学科、九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部言語聴覚療法学科、視機能療法学科、臨床工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見 改善意見
161	私立	倉敷芸術科学大学	届出	29	学部設置	危機管理学部	危機管理学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（芸術学部デザイン芸術学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科、航空技術危機管理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
162	私立	就実大学	認可	26	学部設置	経営学部	経営学科		○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
163	私立	中国学園大学	認可	27	学部設置	国際教養学部	国際教養学科		○ 国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
			認可	27	学部設置	中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科			○ 中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	26	学部設置	健康栄養学部	管理栄養学科		○ 健康栄養学部管理栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
164	私立	比治山大学	認可	26	学部設置	健康栄養学部	管理栄養学科		○ 健康栄養学部管理栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
165	私立	広島国際大学	認可	26	学部設置	医療栄養学部	医療栄養学科		○ 医療栄養学部医療栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
			届出	27	学部設置	心理学部	心理学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療福祉学部医療福祉学科、医療経営学部医療経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
166	私立	広島修道大学	認可	29	学部設置	健康科学部	心理学科		○ 健康科学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
						健康栄養学科				
167	私立	広島都市学園大学	認可	26	学部設置	子ども教育学部	子ども教育学科		○ 子ども教育学部子ども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
									○ 子ども教育学部子ども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
168	私立	広島文化学園大学大学院	認可	24	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 看護学研究科看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	26	研究科設置	教育学研究科	子ども学専攻(M)		○ 教育学研究科子ども学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	28	専攻設置又は課程変更	教育学研究科	子ども学専攻(D)		○ 教育学研究科子ども学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
169	私立	安田女子大学	届出	24	学部設置	心理学部	心理学科		○ 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			届出	24	学部設置	教育学部	児童教育学科		○ 心理学部心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	26	学部設置	看護学部	看護学科		○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	27	学部学科設置	現代ビジネス学部	国際観光ビジネス学科		○ 現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
170	私立	東亜大学大学院	届出	27	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科	臨床心理学専攻(M)		○ 総合学術研究科臨床心理学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
							臨床心理学専攻(D)		○ 総合学術研究科医療科学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
			届出	27	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科	人間科学専攻(M)		○ 同一設置者が設置する既設学部等(医療学部医療工学科、健康栄養学科、人間科学部心理臨床・子ども学科、国際交流学科、芸術学部アート・デザイン学科、トータルビューティ学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
							人間科学専攻(D)		
			届出	27	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科	デザイン専攻(M)		
							デザイン専攻(D)		
			届出	27	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科	医療科学専攻(M)		
							医療科学専攻(D)		
171	私立	徳島文理大学	届出	29	学部学科設置	保健福祉学部	口腔保健学科		○ 保健福祉学部口腔保健学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
		徳島文理大学大学院	認可	28	研究科設置	総合政策学研究科	総合政策学専攻(M)		○ 保健福祉学部口腔保健学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
			認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	看護学専攻(D)		○ 看護学研究科看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等(人間生活学部人間生活学科、メディアデザイン学科、保健福祉学部人間福祉学科、音楽学部音楽学科、薬学部薬学科、文学部日本文学科、英語英米文化学科、文化財学科、理工学部機械創造工学科、ナノ物質工学科、徳島文理大学短期大学部生活科学科生活科学専攻、食物専攻、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
172	私立	聖カタリナ大学	届出	26	学部学科設置	人間健康福祉学部	健康スポーツ学科		○ 人間健康福祉学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 改善意見
			認可	29	学部学科設置	人間健康福祉学部	看護学科		○ 同一設置者が設置する既設学部等(人間健康福祉学部社会福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
173	私立	九州国際大学	届出	29	学部設置	現代ビジネス学部	地域経済学科		○ 現代ビジネス学部地域経済学科の入学定員超過の改善に努めること。 改善意見
							国際社会学科		
174	私立	九州産業大学	届出	28	学部学科設置	芸術学部	芸術表現学科		○ 芸術学部生活環境デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見
			届出	28	学部学科設置	芸術学部	写真・映像メディア学科		<p>○ 芸術学部ソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（商学部第二部商学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
			届出	28	学部学科設置	芸術学部	ビジュアルデザイン学科		
			届出	28	学部学科設置	芸術学部	生活環境デザイン学科		
			届出	28	学部学科設置	芸術学部	ソーシャルデザイン学科		
			届出	29	学部設置	生命科学部	生命科学科		
			届出	29	学部設置	建築都市工学部	建築学科		
						住居・インテリア学科			
						都市デザイン工学科			
			届出	29	学部設置	理工学部	情報科学科		
						機械工学科			
						電気工学科			
175	私立	久留米大学	認可	29	学部設置	人間健康学部	総合子ども学科		<p>○ 人間健康学部総合子ども学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>
						スポーツ医科学科			
176	私立	第一薬科大学	届出	28	学部学科設置	薬学部	漢方薬学科		<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
177	私立	筑紫女学園大学	届出	27	学部設置	現代社会学部	現代社会学科		<p>○ 現代社会学部現代社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
178	私立	福岡看護大学	認可	29	大学設置	看護学部	看護学科		<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（福岡医療短期大学保健福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
179	私立	西九州大学	届出	26	学部設置	健康栄養学部	健康栄養学科		<p>○ 健康福祉学部スポーツ健康福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>
			届出	26	学部設置	健康福祉学部	スポーツ健康福祉学科		
			認可	26	学部学科設置	子ども学部	心理カウンセリング学科		<p>○ 生活支援科学研究科地域生活支援学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
		西九州大学大学院	届出	27	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科	地域生活支援学専攻 (M)		○ 生活支援科学研究科地域生活支援学専攻 (D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	27	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科	地域生活支援学専攻 (D)		○ 同一設置者が設置する既設学部等 (健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部地域生活支援学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
180	私立	長崎国際大学大学院	認可	26	研究科設置	薬学研究科	医療薬学専攻 (D)		○ 同一設置者が設置する既設学部等 (長崎短期大学保育学科介護福祉専攻)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
181	私立	九州保健福祉大学	届出	27	学部設置	生命医科学部	生命医科学科		○ 生命医科学部生命医科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等 (吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等 (社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部言語聴覚療法学科、視機能療法学科、臨床工学科、吉備国際大学社会科学部経営社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、子ども発達教育学科、外国語学部外国語学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
182	私立	宮崎国際大学	認可	26	学部設置	教育学部	児童教育学科		○ 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等 (国際教養学部比較文化学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
183	私立	第一工業大学	届出	23	学部学科設置	工学部	航空工学科		○ 工学部航空工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
									○ 工学部航空工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
									○ 同一設置者が設置する既設学部等 (工学部機械システム工学科、建築デザイン学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
184	私立短大	札幌大学女子短期大学部	届出	25	短大学科設置	キャリアデザイン学科			○ キャリアデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
185	私立短大	青森明の星短期大学	届出	26	短大学科設置	子ども福祉未来学科	保育専攻		○ 子ども福祉未来学科コミュニティ福祉専攻の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							コミュニティ福祉専攻		○ 子ども福祉未来学科保育専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
									○ 子ども福祉未来学科コミュニティ福祉専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
186	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部	認可	26	短大学科設置	救急救命学科			○ 救急救命学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（生活福祉学科介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
187	私立短大	聖和学園短期大学	届出	28	短大学科設置	保育学科			○ 保育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
188	私立短大	仙台青葉学院短期大学	届出	28	短大学科設置	観光ビジネス学科			○ 同一設置者が設置する既設学部等（リハビリテーション学科理学療法専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
189	私立短大	東京経営短期大学	認可	29	短大学科設置	こども教育学科			○ こども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ こども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
190	私立短大	東京歯科大学短期大学	認可	29	短期大学設置	歯科衛生学科			○ 歯科衛生学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見
191	私立短大	茨城女子短期大学	認可	29	収容定員増	保育科			○ 同一設置者が設置する既設学部等（表現文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
192	私立短大	金沢学院短期大学	届出	28	短大学科設置	現代教養学科			○ 開設以来、定員未充足（入学定員超過率H28:0.35倍、H29:0.41倍）が続いているため、未充足の原因を分析し、学生確保に向けた具体的計画を策定した上で、定員充足に向けて努めること。（現代教養学科）	改善意見
193	私立短大	ユマニテク短期大学	認可	29	短期大学設置	幼児保育学科			○ 幼児保育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 幼児保育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
194	私立短大	池坊短期大学	認可	28	短大学科設置	幼児保育学科			○ 幼児保育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 幼児保育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見 改善意見
195	私立短大	大阪成蹊短期大学	届出	28	短大学科設置	生活デザイン学科			○ 生活デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。	改善意見

NO.	設置者区分	大学名等	認可又は届出	開設年度	設置区分	学部等名	学科等名	専攻等名	是正意見又は改善意見	
196	私立短大	神戸山手短期大学	届出	28	短大学科設置	現代生活学科			○ 同一設置者が設置する既設学部等（神戸山手大学現代社会学部総合社会学科、観光文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
197	私立短大	佐賀女子短期大学	届出	29	短大学科設置	地域みらい学科			○ 地域みらい学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
198	私立短大	西九州大学短期大学部	届出	29	短大学科設置	地域生活支援学科			○ 地域生活支援学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（西九州大学健康福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
199	私立高専	金沢工業高等専門学校	届出	27	高専学科設置	グローバル情報学科			○ 同一設置者が設置する既設学部等（金沢工業大学環境・建築学部建築デザイン学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
200	国立	千葉大学大学院	事前伺い	26	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	共同災害看護学専攻（D）		○ 千葉大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻（D）・東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科共同災害看護学専攻（D）・兵庫県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻（D）・高知県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻（D）・日本赤十字看護大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見
	国立	東京医科歯科大学大学院	事前伺い	26	専攻設置又は課程変更	保健衛生学研究科			○ 同一設置者が設置する既設学部等（日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
	公立	兵庫県立大学大学院	届出	26	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				
	公立	高知県立大学大学院	届出	26	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				
	私立	日本赤十字看護大学大学院	届出	26	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				
201	私立	日本赤十字北海道看護大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科	共同看護学専攻（D）		○ 同一設置者が設置する既設学部等（日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
	私立	日本赤十字秋田看護大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				
	私立	日本赤十字豊田看護大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				
	私立	日本赤十字広島看護大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				
	私立	日本赤十字九州国際看護大学大学院	認可	28	専攻設置又は課程変更	看護学研究科				

大学の設置認可・届出の総件数

- 設置届出制の導入後、設置総件数は増加したが、平成19年度以降は減少傾向。
- 組織改編全体の過半を届出設置が占める。

(16年度58.5%、17年度67.6%、18年度73.9%、19年度68.8%、20年度74.8%、21年度75.1%、22年度77.2%、23年度74.9%、24年度77.5%、25年度75.1%、26年度65.9%、27年度62.7%、28年度70.3%、29年度67.8%)

設置認可・届出の総件数の推移

平成15年4月から設置届出制を導入
(平成16年度開設分)

開設年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
認可	277	196	127	126	110	87	78	66	52	53		
届出	1	276	265	356	243	258	235	223	155	183		
設置総件数	278	472	392	482	353	345	313	289	207	236		
総数の事項別内訳	公立	大学・短大	155 (1)	249 (194)	213 (165)	315 (260)	224 (175)	218 (174)	189 (146)	164 (134)	124 (102)	105 (87)
		大学院	123 -	223 (82)	179 (100)	167 (96)	129 (68)	127 (84)	124 (89)	118 (89)	83 (53)	131 (96)
	公立	大学・短大	7 (1)	6 (1)	12 (5)	21 (18)	15 (14)	19 (18)	10 (7)	7 (7)	3 (1)	8 (7)
		大学院	24 -	26 (11)	15 (5)	26 (19)	15 (6)	22 (13)	22 (13)	14 (9)	10 (6)	10 (7)
	小計		31 (1)	32 (12)	27 (10)	47 (37)	30 (20)	41 (31)	32 (20)	21 (16)	13 (7)	18 (14)
	私立	大学・短大	148 -	243 (193)	201 (160)	294 (242)	209 (161)	199 (156)	179 (139)	157 (127)	121 (101)	97 (80)
		大学院	99 -	197 (71)	164 (95)	141 (77)	114 (62)	105 (71)	102 (76)	104 (80)	73 (47)	121 (89)
	小計		247 -	440 (264)	365 (255)	435 (319)	323 (223)	304 (227)	281 (215)	261 (207)	194 (148)	218 (169)

開設年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
認可	46	63	63	50	61		
届出	139	122	106	117	128		
設置総件数	185	185	169	167	189		
総数の事項別内訳	公立	大学・短大	116 (93)	117 (85)	99 (68)	101 (75)	113 (77)
		大学院	69 (46)	68 (37)	70 (38)	66 (42)	76 (51)
	公立	大学・短大	2 (1)	5 (3)	2 (2)	7 (5)	1 (1)
		大学院	13 (11)	9 (3)	13 (9)	8 (4)	10 (3)
	小計		15 (12)	14 (6)	15 (11)	15 (9)	11 (4)
	私立	大学・短大	114 (92)	112 (82)	97 (66)	94 (70)	112 (76)
		大学院	56 (35)	59 (34)	57 (29)	58 (38)	66 (48)
	小計		170 (127)	171 (116)	154 (95)	152 (108)	178 (124)

(注1) 件数は、設置組織数ベース。

(注2) 事項別内訳の括弧内は、届出による内数。

(注3) 平成18年度開設の薬学関係学科については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。

(注4) 平成24年度開設の薬学関係博士課程(4年制)については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。

(注5) 平成26年度開設の公立大学2校と私立大学1校による共同専攻(届出)については、公立大学として計上。

(注6) 平成26年度開設の放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻(博士後期課程)(認可)については、公立大学として計上。

